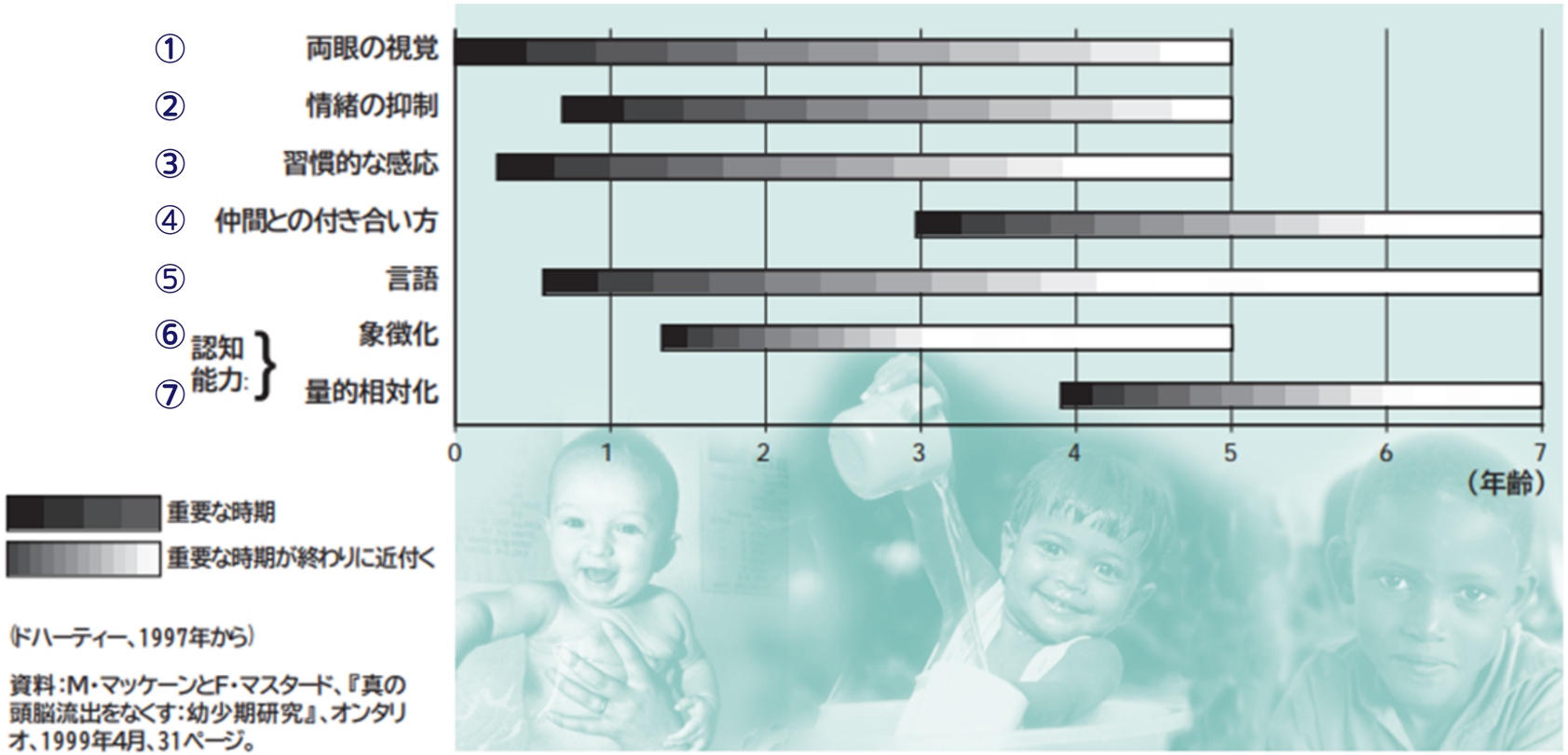
乳幼児期の大切な発達

子どもたちの育ちには
黄金期（育ちの最盛期と
終わりに近づく時期）がある。
幼児期の心身の発達に関して
国際的に研究が加速しており
世界中で注目されている。

①	**両目の視覚**	０歳から３歳までが色彩感覚を育む黄金期・５歳で終わりに近づく
②	**情緒の抑制**	感情のコントロール・６カ月から４歳頃まで５歳で終わりに近づく
③	**習慣的な感応**	６カ月から３歳半ごろまでが重要な時期。５歳で終わりに近づく
④	**仲間との付き合い**	お友だち関係の構築は３歳から始まり５歳半頃までに土台ができる
⑤	**言語**	６カ月から４歳頃までが黄金期。その後７歳頃まで緩やかに発達
⑥	**象徴化**	１歳半から３歳にかけてが認知の黄金期
⑦	**量的相対化**	数量の認知。４歳から６歳にかけて発達

脳の発達で重要な時期
（ユニセフ世界子ども白書より）



（ドハーティー、1997年から）

資料：M・マッケーンとF・マスタード、『真の頭脳流出をなくす：幼少期研究』、オンタリオ、1999年4月、31ページ。